

政治資金の透明性を高める意見書

採択!

公文書改ざんなど、政治の『公正・公平』が土台から揺れています。政治家をめぐってお金の流れも同様に問われています。市議会では…

質問時間は削り

市長・市議の手当てを増やす

3月19日閉会し、野田市議（流星）が野田市議（流星）からありました市議会。一般質問は、一人40分から30分へ。10分削減を強行。（流政会・自民党・新風流山・公明党は賛成、日本共産党は反対）また予算委員会でも、各部門毎に議員一人、質疑応答混みで40分という持ち時間まで削減を求めると、市長・市議の手当てを引上げる条例改正を賛成多数で可決。説明責任が問われます。

カネに汚れ、公正さ欠く政治はダメ

同時に、画期的なことも。『パーティー券購入者の公開など政治資金の透明性を高める努力を求める意見書』（日本共産党提出）は、賛成14、反対13で採択されました。

同時に、画期的なことも。『パーティー券購入者の公開など政治資金の透明性を高める努力を求める意見書』（日本共産党提出）は、賛成14、反対13で採択されました。身近な議会から、政治とカネを正す気風が広がることで、国全体の公正な政治を実現しましょう。



小田桐たかし

日本共産党市議会議員

賛否	日本共産党				流政会								自由民主党				市民クラブ				公明党				菅野浩孝	阿部治正
	乾紳一郎	小田桐仙	徳増記代子	植田和子	野田宏規	近藤美保	大塚洋一	坂巻儀一	石原修治	笠原久恵	森亮二	青野直	加藤啓子	中村彰男	中川弘	根本守	西尾段	森田洋一	西川誠之	楠山栄子	藤井俊行	戸辺滋	野村誠	齊藤真理		
政治資金の透明性を高める努力を求める意見書	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
議員の手当引き上げ	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	×

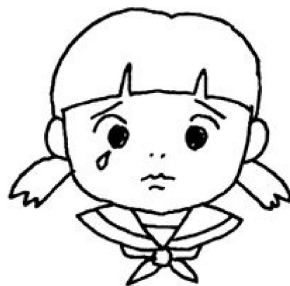
高校生の訴え 心に留めよ

奨学金の拡充求める意見書は否決

H27年の高校生議会でも切実な訴えがあり、かつ4月からの新生活にも関係する奨学金。市議会に求められていることは...

主義主張の対立どころか？

高校入学〜大学卒業までの必要費用は平均114万5千円：日本政策金融公庫千葉支店調査から明らかになりました。



前年度比約63万円増かるとしてあります。

加。進学先次第によつては310万円もの開きが生じ、世帯に占める割合も「年収200〜400万円未満以下」は43・1%、「年収800万円以上」で10・8%とのことです。

文科省データでも、出願・受験費など高3頃〜大学入学までの半年で、私立・国立どちらも200万円近くか

日本共産党は、意見書案を提案。政府が創設した給付型奨学金制度の課題の解決と同時に、高校生の訴えも盛り込みましたが、残念ながら否決になりました。

新年度、学生の困っている姿や返済で苦勞している青年への説明責任が、各議員に問われなければなりません。

『拡充』一点での共同を広げよう

秋田県では、H30年度予算に独自の奨学金新制度を創設し、学生を応援。国が始めた給付型奨学金を受け権利がありながら、枠からもれてしまった学生を救済します。

国へ課題解決を迫る一番手っ取り早いのが意見書を議会として送付すること

また流山市議会教育福祉委員会が昨年視察した岩手県花巻市では、H29年度から独自の奨学金制度を導入。市内企業からの寄付を活かし、対象を徐々に広げ、地域の子どもをみんな育て、支える取り組みは広がっています。

独自の予算はかかります。奨学金拡充は多くの人の願いであり、一点での共同を広げましょう。

賛否	日本共産党				流政会						自由民主党				市民クラブ			公明党			菅野浩孝	阿部治正					
	乾紳一郎	小田桐仙	徳増記代子	植田和子	野田宏規	近藤美保	大塚洋一	坂巻儀一	石原修治	笠原久恵	森亮二	青野直	加藤啓子	中村彰男	中川弘	根本守	西尾段	森田洋一	西川誠之	楠山栄子			藤井俊行	戸辺滋	野村誠	齊藤真理	秋間高義
給付型奨学金の 抜本的拡充求め る意見書	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	議長	×	○